

科目名	英語 IA	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群		
			経済学部	□必修 ■選択	
			総合政策部	□必修 ■選択	
英文表記	English I	開講年次	■ 1 年 ■ 2 年 ■ 3 年 ■ 4 年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	おざき かな	実務家教員担当科目		修得単位	2 単位
担当者名	尾崎 加奈	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	英語の基本表現を覚え、正しい発音で単語や文章を読むことができるようになる。自分について英語で表現し、相手が話す英語を理解できるようになる。				
到達目標	この授業では、次のような知識・能力を修得することができます。 1. 正しい発音で英文を読むことや発話することができる。 2. 英文を聴いたり読んだりして、大意をつかむことができる。 3. 基礎文法を理解し、物事の説明や自分の考えを相手に分かりやすい英語で表現することができる。				
授業概要	本講義では、大学生活で身近な事柄をテーマとして扱い、リスニングやスピーキングの力を伸ばします。毎回の授業では、新出単語の小テストを行い、語彙の定着を目指します。英語の発音やリズムに慣れるため、授業内で音読や発話、発表の機会がたくさんあります。ペアやグループ活動では、英語で自分の考えを表現し、相手の意見も聞き取ります。学習のまとめとして、期末に各自でトピックを選び、英語で原稿を作成して、プレゼンテーション（口頭発表）を行います。				
授業計画					
第 1 回	オリエンテーション				
第 2 回	Introducing yourself!				
第 3 回	A geography lesson				
第 4 回	Explain your travel schedule				
第 5 回	Arriving				
第 6 回	Understand instructions and advice				
第 7 回	People				
第 8 回	Talk about present activities				
第 9 回	House rules				
第 10 回	Describe the location of things				
第 11 回	Orientation				
第 12 回	Ask about meaning				
第 13 回	First lesson day				
第 14 回	Understand directions				
第 15 回	Review				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の学習	教科書のスクリプトの音読（0.5 時間）。 各課の英単語の予習と英語表現の復習（1 時間）。				
履修条件 受講のルール	・ クラス分けテストの結果により受講して下さい。 ・ 教科書を必ず購入してください。未購入の場合は欠席扱いになります。 ・ 教科書を持参し忘れた場合は、友人に借りて教科書の該当箇所をコピーするなど、授業に参加できるように各自で準備してください。教科書またはそのコピーを持たずに受講することはできません。 ・ 基本として 10 分以上の遅刻は欠席扱いとなります。 ・ 授業中は着席することを前提とします。授業中に 5 分以上退席する場合は欠席扱いとなります。				

	・授業中にやむを得ず退席する場合は、スマートフォン等を教員に預けてください。 ・お手洗いは、できる限り授業前に済ませてください。 ・授業中に飲食はできません。飲食物はかばんに収納してください。 ・授業中に携帯電話を取り出すことがないように必ずかばんに収納してください。 ・定期試験とプレゼンテーションには必ず出席しましょう。 ・ポータルサイト上で資料の配布や連絡をすることがあります。授業前までに必ず確認し、指示がある場合にはプリントアウトをして持参してください。 授業ではペアやグループで活動することがあります。マナー良く参加しましょう。
テキスト	テキスト名：READY FOR TAKEOFF! 著者：A. Jackson, and H. Uchida 出版社：金星堂
参考文献・資料	・『総合英語 Forest』石黒昭博、桐原書店（2013） ・『総合英語 Evergreen』川崎 芳人 他、いっずな書店（2017） ・NHK WORLD JAPAN https://www3.nhk.or.jp/nhkworld/
成績評価の方法	【小テスト（30%）、プレゼンテーション（30%）、定期試験（40%）】 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィスアワー	授業の前後で対応します。それ以外では、事前の予約があれば個別に対応します。
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	授業では学生同士が協力して活動する機会がたくさんありますので、積極的に授業に参加してください。 授業は分からないことを皆で解決していく場です。英語について分からないこと、疑問があれば、どんなに小さなことでもその場で質問しましょう。英語の発音、基礎文法の復習、ライティング、スピーチ等に興味のある学生の受講を期待しています。

科目名	英語 I A	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群		
			経済学部	□必修 ■選択	
			総合政策学部	□必修 ■選択	
英文表記	Elementary English I A	開講年次	■ 1 年 ■ 2 年 ■ 3 年 ■ 4 年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	オブライエンクリスチャン	実務家教員担当科目	○	修得単位	2 単位
担当者名	Christian O'Brien	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	このクラスでは、日常生活のさまざまな場面で英語を使用する方法を生徒に紹介し、ビジネスや個人の状況で英語に必要な基本的な文法を教えます。				
到達目標	学生は、次のスキルを習得すると、このクラスの単位を取得できます。 1. 日常生活について英語で声明を出す 2. 基本的な英語の文法を使用して質問したり答えたりできる 3. 過去、現在、未来のイベントを説明するために基本的な英語を使用できるか				
授業概要	このクラスでは、講義、ブックワーク、リスニング、スピーキング、グループ活動を通じて、英語と文法の基礎を練習します。 また、日常生活や時事問題の幅広いトピックについても議論します。				
授業計画					
第 1 回	自己紹介と名前についての質問				
第 2 回	「Be」という単語を含むステートメント				
第 3 回	複数の単語と「A と An」				
第 4 回	Be による「はい」と「いいえ」の質問				
第 5 回	場所の説明				
第 6 回	ユニット 1 ～ 2 のレビュー				
第 7 回	「Be」という言葉を含む Yes と No の質問				
第 8 回	国と国籍と音節数え方と数字				
第 9 回	数え方と数字				
第 10 回	「Be」という単語を含む情報の質問				
第 11 回	人物の説明				
第 12 回	服装と所有代名詞				
第 13 回	継続的な質問と発言を提示する				
第 14 回	ユニット 3-4 のレビュー				
第 15 回	レビュー				
第 16 回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業前には教科書の該当箇所に必ず目を通してください。分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。(1.5 時間程度) 2. 生徒は、定義や例文とともに、クラスや外部のソースから学習した新しい単語を書く語彙日誌を保持およびレビューする必要があります。(0.5 時間程度) 3. 生徒は、試験に重要となるため、文法のセクションに特に注意しながら、定期的に教科書を確認する必要があります。(1.5 時間程度)				
テキスト	Interchange Intro A, 5 th edition				
参考文献・資料	Cambridge.org/interchange				
成績評価の方法	小テスト(10%)、 定期試験(60%)、 クラス参加(30%)】				

	上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。
オフィスアワー	授業後の月曜日、10：30 から 11:00 まで、予約制。
成績評価基準	秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	私は 15 年以上にわたって第二言語として英語を教えてきました。 これらの 15 年間のうち、12 年間は日本であらゆる年齢の学生に教えてきました。 このクラスを通して、学生に英語コミュニケーションの基礎を教えたいと思っています。 また、将来の英語学習のための強力な基盤と動機を学生に与えたいと思っています。
学生へのメッセージ	英語の研究と使用は重要性を増しています。 英語は、世界中のビジネス、英語圏の国、およびその他の国で共通の第二言語として使用されています。 また、旅行が安価で一般的になるにつれて、英語は日本の日常生活においてより重要になっています。 このクラスで教えられたスキルは、いつか役に立つと思います。 そのため準備をし、自信を持って英語で表現できるようにお手伝いしたいと思います。